

予算のあらまし

令和6年度（2024年度）

ふるさと秦野の輝く未来へ、歩みを加速させる予算

—「水とみどりに育まれ 誰もが輝く 暮らしよい都市^{まち}」の実現に向けて—



OMOTAN

表丹沢

秦野市

目 次

1	市政の運営方針	1
2	予算の概要	1
3	一般会計予算の状況	
	(1) 歳入の概要	3
	(2) 歳出の概要	5
	(3) 一般会計当初予算額の推移	7
	(4) 市債及び基金現在高の状況	8
	(5) 令和6年度の主な取組み	10
4	水道事業会計予算の状況	17
5	公共下水道事業会計予算の状況	19
6	国民健康保険事業特別会計予算の状況	21
7	介護保険事業特別会計予算の状況	22
8	後期高齢者医療事業特別会計予算の状況	23
9	資 料	24

表紙のロゴマーク『OMOTAN』は、表丹沢の略称であるとともに、「面白い」、「楽しい」の語感を組み合わせたキャッチフレーズです。「M」と「A」を表丹沢の山々に見立て、ブルーは名水、ピンクは桜などの花を表現しています。

1 市政の運営方針

令和9年度の新東名高速道路の全線開通を絶好の機会と捉え、将来のまちづくりの基盤ともなるインター周辺の整備を着実に進め、表丹沢の魅力づくりをさらに加速させるとともに、小田急線4駅周辺では、各駅それぞれの特色を生かしながら、活力あふれるにぎわい創造に向けて取り組みます。

また、女性と子どもが住みやすいまちづくりを進めるため、妊娠・出産期から子どもたちが社会にはばたくまで、切れ目ない支援の充実・強化を図り、市民が安心して、子どもを産み・育てられる環境をさらに整えていきます。

こうした秦野みらいづくりプロジェクトなどの展開により、誰もが住みたい、働きたい、何度でも行ってみたいと思う、魅力あふれる「全国屈指の森林観光都市」の具現化を進め、本市の都市像である『水とみどりに育まれ誰もが輝く暮らしよい都市(まち)』の実現を目指します。

2 予算の概要

ふるさと秦野の輝く未来へ、歩みを加速させる予算

歳入の根幹である市税は、経済の正常化が進んだことにより本来増収が見込まれるところ、定額減税の実施や東日本大震災復興法に基づき実施してきた均等割の引き上げが終了することにより、令和5年度予算に比べ、7億円減の219億円と見込みました。

一方で、歳出は、障害福祉サービスや生活保護に要する扶助費などの社会保障費が増加していることに加え、物価高騰への対策など、複雑化・多様化する行政需要への的確な対応が求められており、依然として厳しい財政状況が続きます。

しかし、このような厳しい状況にあっても、未来への投資につながる事業については、機を逃さず実施していく必要があります。

そのため、令和6年度は、渋沢丘陵を生かした賑わいづくりや電子地域通貨の導入など、新たな事業についても積極果敢に取り組み、本市をさらに飛躍・発展させていくため、「ふるさと秦野の輝く未来へ、歩みを加速させる予算」として、健全財政の維持に努めつつ、市債や財政調整基金を積極的に活用し、過去最大規模となる605億8,000万円の一般会計予算を編成しました。

令和6年度予算における、一般会計、地方公営企業会計及び特別会計の6つの

会計の予算総額は1,033億3,300万円となり、前年度と比べて44億5,900万円（4.5%）の増となりました。

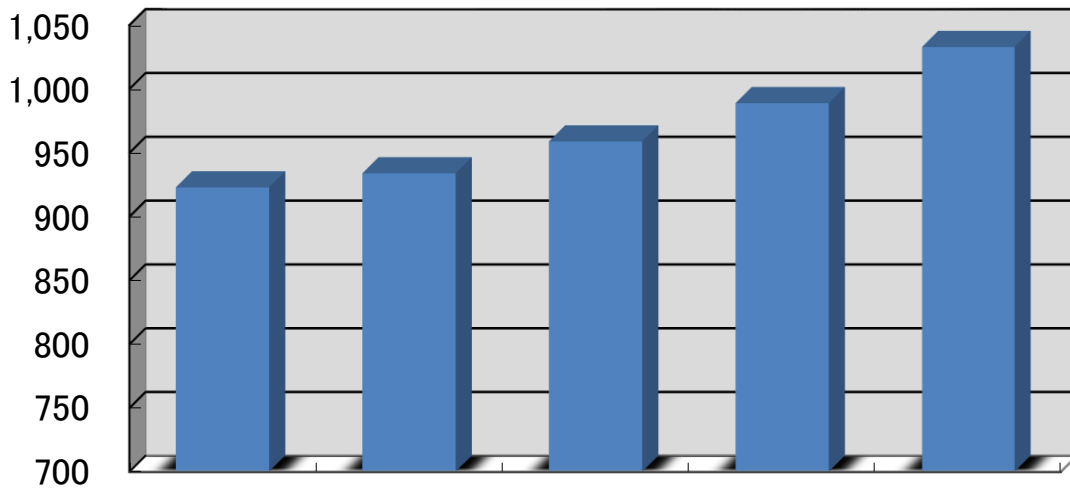
【令和6年度会計区分別予算構成】

（単位：千円、%）

会計区分		令和6年度 当初予算	令和5年度 当初予算	比較		構成比	
				増減額	増減率	令和6年度	令和5年度
一般会計		60,580,000	55,570,000	5,010,000	9.0	58.6	56.2
企業 地方 会計	水道事業	3,265,000	3,850,000	△ 585,000	△ 15.2	3.2	3.9
	公共下水道事業	5,166,000	5,533,000	△ 367,000	△ 6.6	5.0	5.6
特別 会計	国民健康保険事業	16,591,000	17,096,000	△ 505,000	△ 3.0	16.1	17.3
	介護保険事業	14,492,000	13,968,000	524,000	3.8	14.0	14.1
	後期高齢者医療事業	3,239,000	2,857,000	382,000	13.4	3.1	2.9
計		103,333,000	98,874,000	4,459,000	4.5	100.0	100.0

【最近5年間の当初予算総額の推移】

（億円）



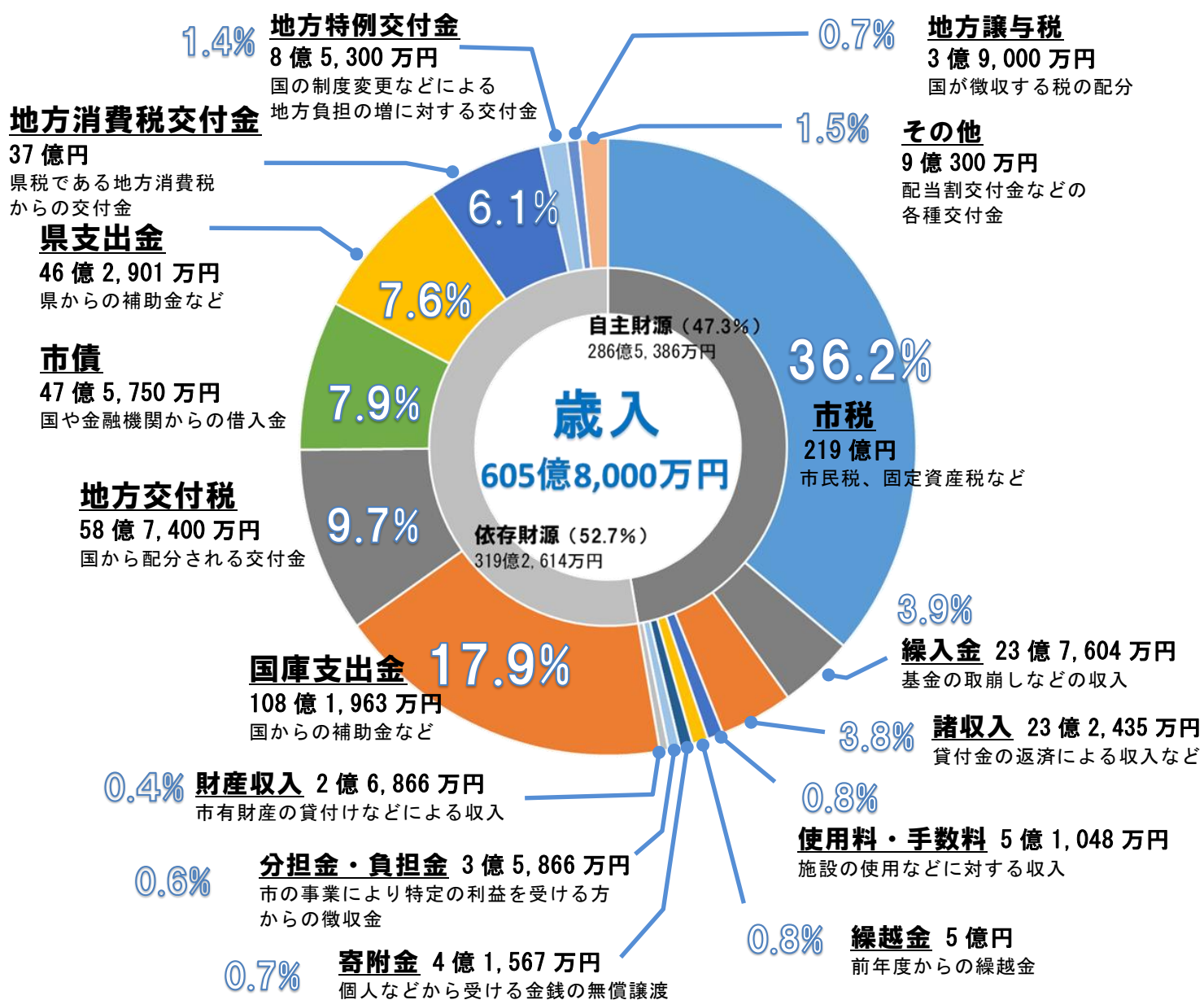
	令和2年度	令和3年度	令和4年度	令和5年度	令和6年度
予算額	923億1,500万円	933億7,600万円	959億4,300万円	988億7,400万円	1,033億3,300万円
対前年度伸率	△0.8%	1.1%	2.7%	3.1%	4.5%
市民1人 当たりの額	57万4,348円 (160,730人)	58万3,717円 (159,968人)	60万864円 (159,675人)	62万620円 (159,315人)	65万1,081円 (158,710人)

※（ ）内の人数は、各年度3月末日現在の住民基本台帳人口

3 一般会計予算の状況

(1) 歳入の概要

歳入の款別の構成比で最も大きい市税については、前年度と比べて7億円減の219億となりました。主な減額要因として、個人市民税については、定額減税の減収を7億円と見込んだことや東日本大震災復興法に基づく臨時措置として実施してきた均等割の引き上げが終了することに伴う減収により、令和5年度予算に比べ、6億5,425万円の減を見込みました。



※端数調整のため、自主財源及び依存財源の構成比は各款の合計と一致しません。

【一般会計当初予算（歳入）の前年度比較】

(単位:千円、%)

款	令和6年度	令和5年度	比較		構成比	
			増減	伸率	令和6年度	令和5年度
1 市 税	21,900,000	22,600,000	△ 700,000	△ 3.1	36.2	40.7
2 地 方 譲 与 税	390,000	356,000	34,000	9.6	0.7	0.6
3 利 子 割 交 付 金	6,000	8,000	△ 2,000	△ 25.0	0.0	0.0
4 配 当 割 交 付 金	167,000	190,000	△ 23,000	△ 12.1	0.3	0.3
5 株 式 等 譲 渡 所 得 割 交 付 金	190,000	135,000	55,000	40.7	0.3	0.3
6 法 人 事 業 税 交 付 金	321,000	214,000	107,000	50.0	0.5	0.4
7 地 方 消 費 税 交 付 金	3,700,000	3,788,000	△ 88,000	△ 2.3	6.1	6.8
8 ゴ ル フ 場 利 用 税 交 付 金	92,000	84,000	8,000	9.5	0.2	0.2
9 環 境 性 能 割 交 付 金	106,000	70,000	36,000	51.4	0.2	0.1
10 地 方 特 例 交 付 金	853,000	155,000	698,000	450.3	1.4	0.3
11 地 方 交 付 税	5,874,000	5,189,363	684,637	13.2	9.7	9.3
12 交 通 安 全 対 策 特 別 交 付 金	21,000	20,350	650	3.2	0.0	0.0
13 分 担 金 及 び 負 担 金	358,664	325,842	32,822	10.1	0.6	0.6
14 使 用 料 及 び 手 数 料	510,477	496,783	13,694	2.8	0.8	0.9
15 国 庫 支 出 金	10,819,629	9,686,719	1,132,910	11.7	17.9	17.4
16 県 支 出 金	4,629,011	4,535,475	93,536	2.1	7.6	8.2
17 財 産 収 入	268,656	180,468	88,188	48.9	0.4	0.3
18 寄 附 金	415,672	420,223	△ 4,551	△ 1.1	0.7	0.8
19 繰 入 金	2,376,039	2,398,581	△ 22,542	△ 0.9	3.9	4.3
20 繰 越 金	500,000	500,000	0	0.0	0.8	0.9
21 諸 収 入	2,324,352	1,747,896	576,456	33.0	3.8	3.2
22 市 債	4,757,500	2,468,300	2,289,200	92.7	7.9	4.4
歳 入 合 計	60,580,000	55,570,000	5,010,000	9.0	100.0	100.0

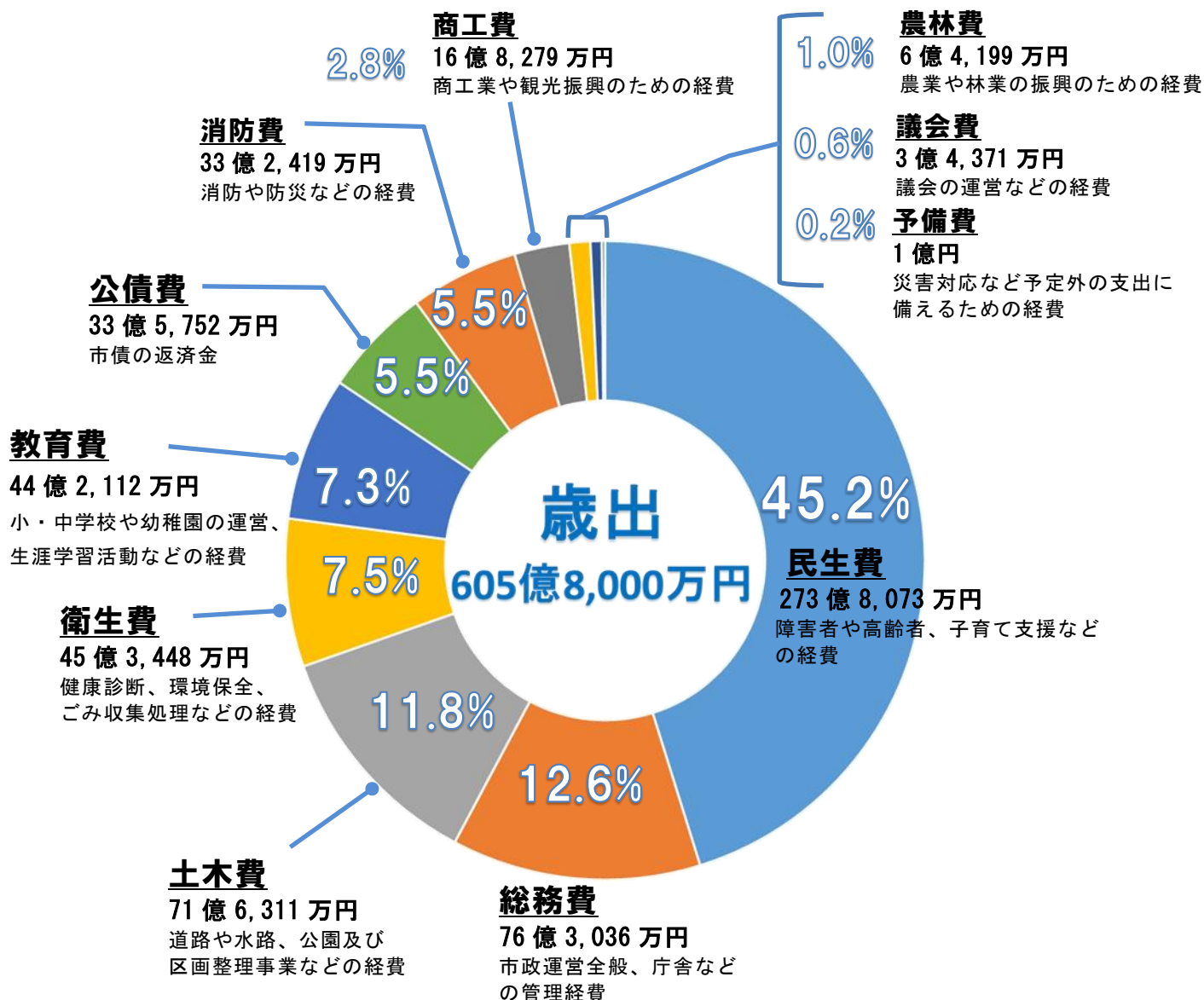
(2) 歳出の概要

歳出の款別（目的別）の構成比では、障害福祉サービス利用者や生活保護世帯の増加を見込むとともに、小児医療費助成事業を拡充することなどから、民生費が45.2%と最も多くを占めています。

前年度との比較では、令和5年度に実施した臨時財政対策債の繰上償還の終了などにより、公債費が9億2,896万円（21.7%）減の33億5,752万円となりました。

また、電子地域通貨の導入や震生湖太鼓橋の架替えを実施することなどに伴い、商工費が前年度と比べて5億687万円（43.1%）増の16億8,279万円となりました。

【一般会計当初予算（目的別歳出）】

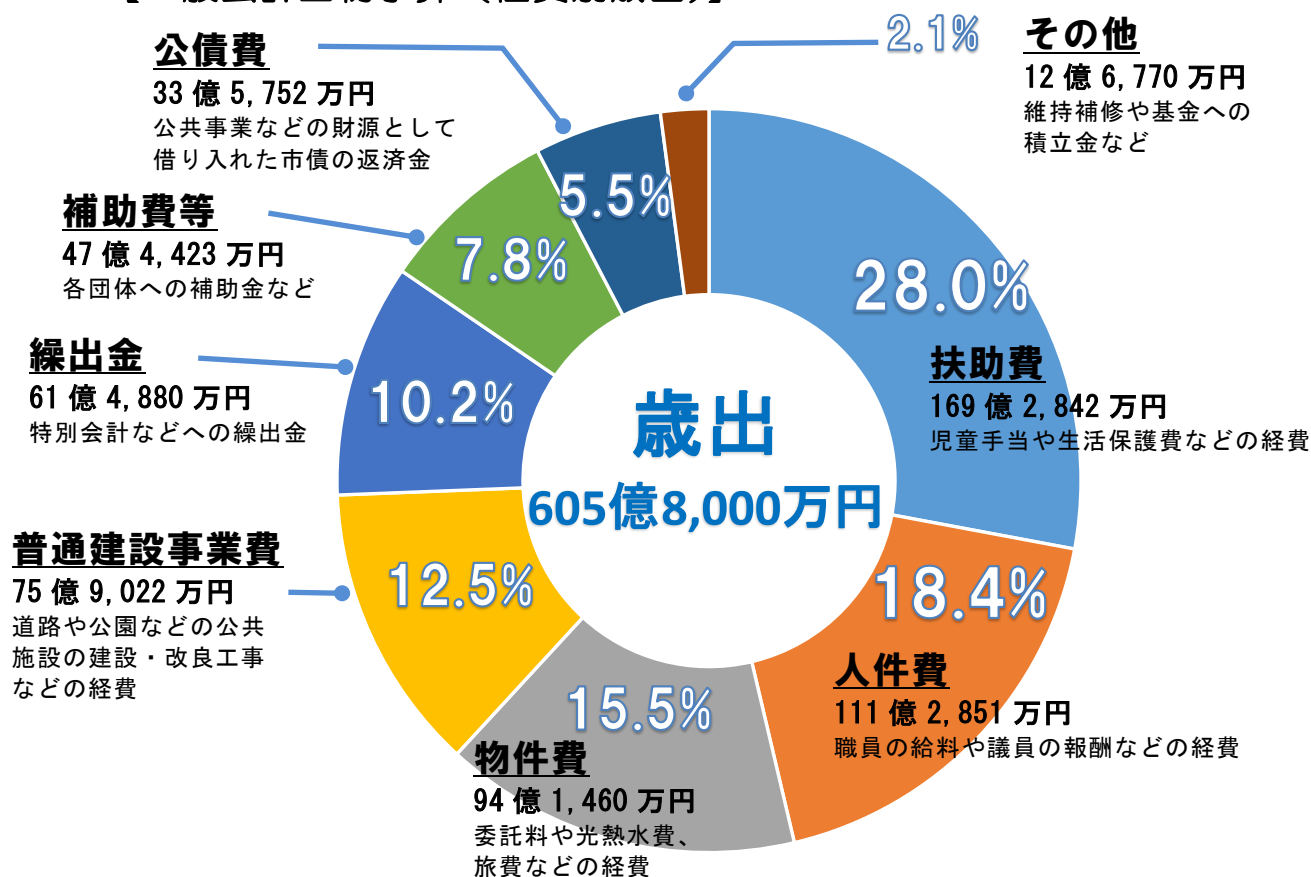


【一般会計当初予算（目的別歳出）の前年度比較】

（単位：千円、％）

款	令和6年度	令和5年度	比較		構成比	
			増減	伸率	令和6年度	令和5年度
1 議会費	343,709	335,851	7,858	2.3	0.6	0.6
2 総務費	7,630,356	5,575,607	2,054,749	36.9	12.6	10.0
3 民生費	27,380,731	25,661,720	1,719,011	6.7	45.2	46.2
4 衛生費	4,534,481	4,564,515	△ 30,034	△ 0.7	7.5	8.2
5 農林費	641,989	636,649	5,340	0.8	1.0	1.2
6 商工費	1,682,795	1,175,925	506,870	43.1	2.8	2.1
7 土木費	7,163,111	6,096,699	1,066,412	17.5	11.8	11.0
8 消防費	3,324,190	2,461,812	862,378	35.0	5.5	4.4
9 教育費	4,421,118	4,674,738	△ 253,620	△ 5.4	7.3	8.4
10 公債費	3,357,520	4,286,484	△ 928,964	△ 21.7	5.5	7.7
11 予備費	100,000	100,000	0	0.0	0.2	0.2
歳出合計	60,580,000	55,570,000	5,010,000	9.0	100.0	100.0

【一般会計当初予算（性質別歳出）】

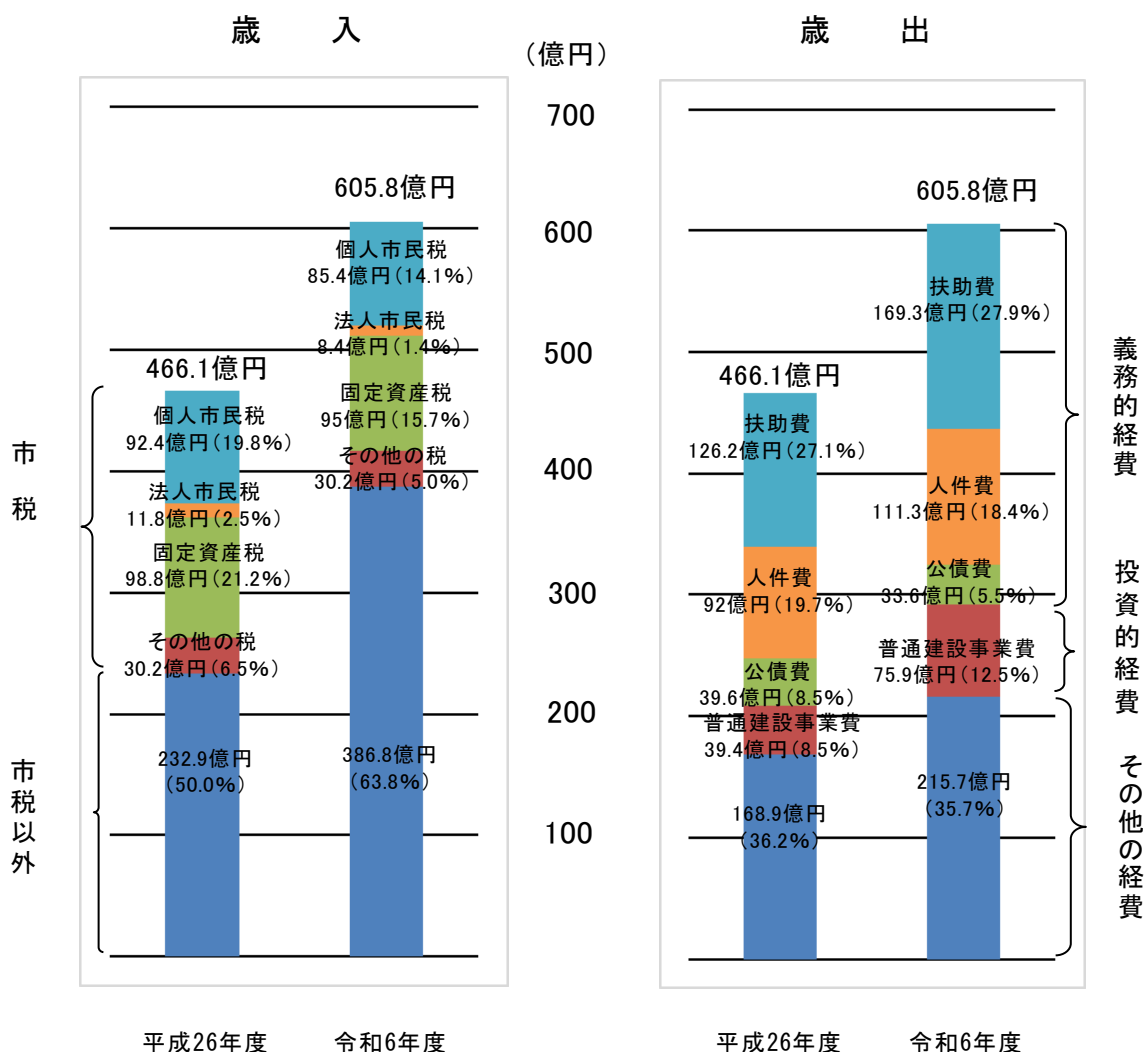


(3) 一般会計当初予算額の推移

一般会計当初予算額について、10年前と比較すると、139億7,000万円(30.0%)増えています。

歳入では、自主財源の根幹である市税が14億2,000万円(6.1%)の減となっている一方で、地方交付税、国庫支出金及び県支出金といった依存財源の増により、市税以外が153億9,000万円(66.1%)の増となっています。

歳出では、超高齢化の進行に伴い、社会保障費などに支出される扶助費が43億752万円(34.1%)の増となり、また、最低賃金の上昇に伴い会計年度任用職員などへの報酬や手当等に支出される人件費が19億2,513万円(20.9%)の増となっています。なお、伊勢原市との共同消防指令センターの整備やクアーズテック秦野カルチャーホール(文化会館)の特定天井の改修工事などの実施により、普通建設事業費が36億5,120万円(92.7%)の増となっています。



※ () 内の数値は構成比

(4) 市債及び基金現在高の状況

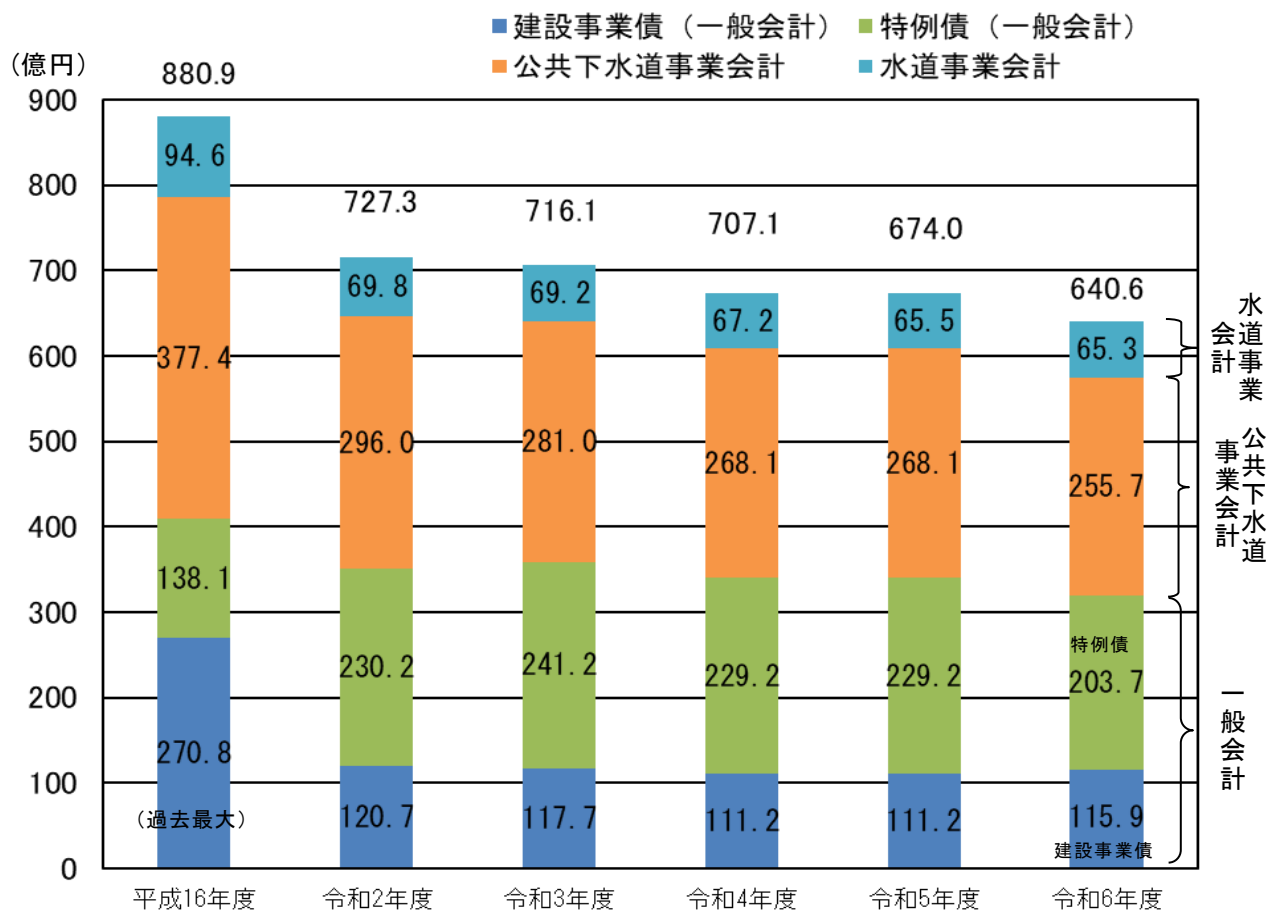
○市債の状況

本市では、将来世代に過度な負担を残さないよう、計画的な市債の借入れに努めることにより、残高の縮減を図ってきました。

令和6年度末の市債現在高は、一般会計における特例債や公共下水道事業会計における企業債の償還が進んでいることから、全会計では、前年度と比べて33億4,376万円（5.0%）の減となる640億5,722万円を見込んでいます。過去最大であった平成16年度末と比較すると、240億3,428万円（27.3%）縮減しています。

なお、一般会計における特例債のうち、臨時財政対策債は、市が標準的な行政サービスを提供するに当たり、不足する財源を補う普通交付税の代替財源として、平成13年度の制度創設以来借り入れてきましたが、市債全体に占める割合は6割を超える状況にあります。

【市債現在高の推移及び推計】

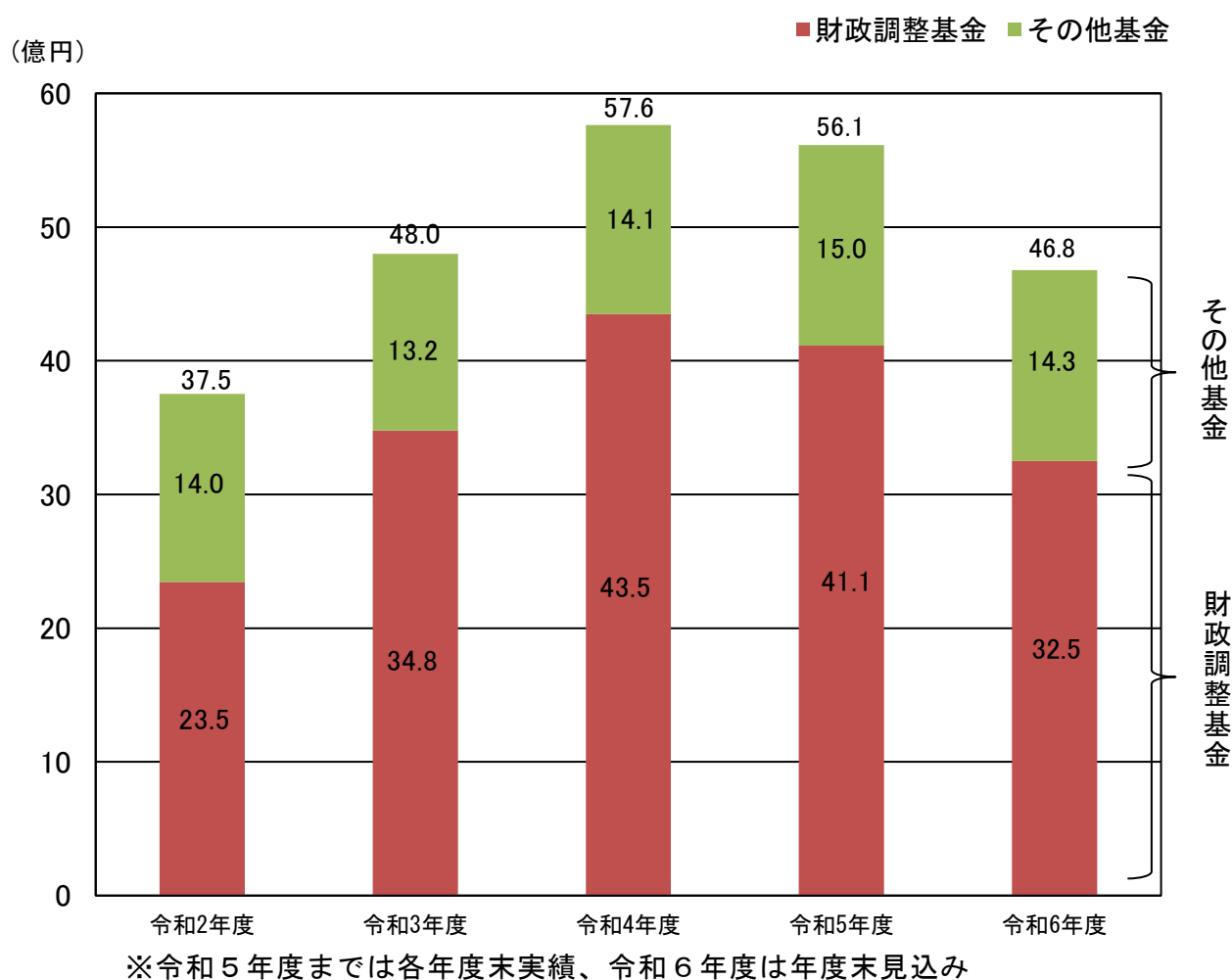


○基金の状況（一般会計）

一般会計の基金全体の現在高は、財源不足に対する財政調整基金の取崩しなどにより、令和6年度末では9億3,707万円（16.7%）減の46億7,713万円を見込んでいます。

財政調整基金の令和6年度末残高は、目安としている約30億円を確保できる見込みですが、本基金は、年度間の財政の不均衡を調整し、不測の財政需要に備え積み立てる、いわゆる「市の貯金」としての機能を有することから、今後も激甚化・大規模化する自然災害や物価高騰など、不測の事態にも柔軟に対応できるよう引き続き適正残高の確保に努めます。

【基金現在高の推移及び推計】



(5) 令和6年度の主な取組み ★は新規、○は拡充する取組み

“住んでみよう・住み続けよう”
秦野みらいづくりプロジェクト「5つの誓い2022」

1 健康で安心して暮らせるプロジェクト

(1) 市庁舎等の照明設備のLED化【3億1,865万円】○

2050年カーボンニュートラルの実現に向け、市庁舎等公共施設の照明設備のLED化に取り組みます。



(2) 成年後見制度利用支援事業の拡充【131万円】○

成年後見制度の利用申立費用や後見人等に対する報酬等の費用助成については、これまで市長が申し立てる場合のみ助成対象としてきましたが、成年後見制度の利用促進を図るため、市長以外（本人や家族以外の代理人等）が申立てを行う場合にも助成対象を拡充します。

(3) クアーズテック秦野カルチャーホール（文化会館）の特定天井の改修等工事【14億9,716万円】★

利用者が安全・安心に利用できるよう、令和6年度及び7年度の2か年で特定天井改修等工事を実施します。



2 未来を拓く子育て・教育プロジェクト

(1) 産後ケア事業の拡充【1, 123万円】○

妊娠から出産、子育てまでの切れ目のない支援を行っていくため、産後ケア事業について、宿泊型や訪問型、日帰り型を合わせた利用回数の上限を3回から7回に拡充します。



(2) 小児医療費助成事業の対象年齢の拡大【6, 206万円】○

子どもたちが社会へ羽ばたくまで健やかな成長を支援するために、小児医療費助成の対象を18歳（年度末年齢）までに拡大します。

(3) 非認知能力等に着目した授業改善としての「学びの基盤プロジェクト」の拡充【672万円】○

児童生徒の学力向上の基盤となる非認知能力の向上や授業改善を図るため、学びの基盤プロジェクトを全校に拡充します。

(4) 公私連携幼保連携型認定こども園への移行に向けた施設整備支援【3億593万円】★

公立ほりかわ幼稚園を公私連携幼保連携型認定こども園に移行するに当たり、社会福祉法人が行う施設整備に要する費用の一部を支援します。

3 小田急線4駅周辺のにぎわい創造プロジェクト

(1) にぎわい創造に向けた「中心市街地活性化推進計画」策定の取組み【700万円】★

秦野駅北口周辺まちづくりビジョンの実現に向け、社会実験を踏まえながら、中心市街地活性化推進計画を策定し、拡幅整備が進む県道705号沿道における交流拠点の整備に向けた検討や公共空間の更なる活用による中心市街地の活性化に取り組みます。



(2) 震生湖太鼓橋の架替え及び名称の公募【1億3,800万円】★

四季折々の景色が楽しめる震生湖について、来訪者の安全・安心の確保と更なる魅力向上のため、太鼓橋を架け替えるとともに、市民が愛着を持ち、親しみを感じてもらうため、新たな橋の名称を公募します。



(3) 電子地域通貨の導入【2億2,048万円】★

地域経済の好循環と活性化、市民生活の利便性の向上を図るため、市民、事業者、関係団体等と連携して「電子地域通貨」の導入を進めます。



4 新東名・246バイパスの最大活用プロジェクト

(1) 表丹沢魅力づくり構想の推進

表丹沢における農林業、観光、文化、歴史、スポーツなど、広範な分野の地域資源を磨き、つなげ、新たに触れる機会を増やし、本物の魅力を見つけ出せる表丹沢とすることにより、関係人口や交流人口の増加と地域活性化を推進します。



- ・ 「羽根森林資源活用拠点における土地利用構想（仮称）」づくりに向けた経済波及効果等の検証【858万円】★
- ・ 緑水庵駐車場の拡充、蓑毛自然観察の森の散策路整備【4,054万円】★
- ・ OMO TANライターの活用など表丹沢の魅力を発信する取組み【1,615万円】

(2) 地域特性を生かした企業誘致の推進

土地区画整理組合への支援（戸川地区）【3,900万円】★

戸川地区における新東名高速道路等のネットワークや地域特性を生かした新たな雇用の創出につながる企業誘致の推進に取り組みます。

(3) 新たな人の流れを支えるネットワーク形成の推進

新東名高速道路の全線開通に向け、秦野丹沢スマートインターチェンジから中心市街地へのアクセス性を高める新たな都市計画道路菩提横野線の整備を進めるとともに、並行する矢坪沢の整備に取り組みます。



- ・ 菩提横野線の整備【2億4,886万円】
- ・ 矢坪沢水路の整備【4億4,395万円】

5 新たな日常創造プロジェクト

(1) マイナンバーを活用した書かない窓口の導入【422万円】★

窓口での住所異動の届出や証明書の請求手続において、マイナンバーカードのICチップに記録される4情報（氏名・住所・生年月日・性別）を読み出し、申請書類にあらかじめ印字することで、申請者の記入の手間を削減する「書かない窓口」の実現に取り組みます。

(2) 道路などの地図情報が取得できるはだのデジタル都市情報コーナー「はだのマップステーション」の開設【1,520万円】★

これまで各課で導入していたGISを一本化し、西庁舎1階にタッチパネル、課金機及び印刷機を揃えたはだのデジタル都市情報コーナー「はだのマップステーション」を開設し、市民や事業者の利便性向上を図るとともに、サーバ機器の集約化等に係るコスト削減を図ります。



横断プロジェクト「移住・定住プロジェクト」 ～移住・定住人口の増加につなげる取組みの推進～

「住みたい」、「働きたい」、「何度でも行ってみたい」につながる「移住・定住活性化プロジェクト」を進めることで、「関係人口」を創出・拡大させ、地域経済の活性化を図るとともに、移住・定住人口の増加につなげます。

1 はだの丹沢ライフ応援事業【1億2,845万円】

本市への移住・定住促進を図るため、若者世帯等が市内に新たに住宅を取得する際に係る費用の一部の助成を行うとともに、移住希望者に対する情報提供や相談対応などを行います。



2 移住お試し住宅の運営【343万円】

本市の子育て環境や利便性の良さを体験できる移住お試し住宅「TANZAWA LIFE」と「miraie」を運営し、本市への移住・定住の促進を図ります。



総合計画前期基本計画に掲げた施策

1 新たな彫刻設置に向けたマケット展の開催【184万円】★

市制施行70周年を記念して、新たな野外彫刻設置に向けたマケット（模型作品）展を開催し、安らぎと潤いのあるまちづくりを実現する「彫刻のあるまち」として、市内外にPRするとともに、市民に親しまれる文化の振興に努めます。

2 自転車ヘルメット購入補助制度の創設【240万円】★

自転車ヘルメット購入補助制度を創設し、自転車利用者のヘルメット着用率の向上を図ります。

3 おおね公園ローラー滑り台の改修【1,260万円】★

遊具の安全性の確保、機能維持、長寿命化を目的に、おおね公園のローラー滑り台の改修工事に取り組みます。

4 総合体育館の屋根改修【1億8,477万円】★

施設の安全性の確保、機能維持、長寿命化を目的に、総合体育館の屋根の改修工事（雨漏り修繕）に取り組みます。

5 「第40回全国削ろう会秦野大会」の開催【300万円】★

建築大工等の優れた技能や、丹沢の木々の魅力に市民が身近に触れる機会を提供し、市内建築関連産業の活性化や森林の持続可能な循環サイクルの構築につなげるため、「第40回全国削ろう会秦野大会」を開催するに当たり、招致・実行委員会に対し、大会開催に係る経費を支援します。

4 水道事業会計予算の状況

業務予定量を給水戸数8万700戸、年間総給水量1,877万6,000立方メートル、1日平均給水量5万1,441立方メートルと決めました。また、予算規模は、対前年度比15.2%減の32億6,500万円としました。

1 収益的収入及び支出

(1) 収入

(単位：千円)

款 項	令和6年度	令和5年度	比較増減	伸 率 (%)	構 成 比 (%)	
					令和6年度	令和5年度
1 水道事業収益	2,958,642	3,001,595	△ 42,953	△ 1.4	100.0	100.0
1 営業収益	2,490,557	2,491,799	△ 1,242	△ 0.0	84.2	83.0
2 営業外収益	468,071	509,787	△ 41,716	△ 8.2	15.8	17.0
3 特別利益	14	9	5	55.6	0.0	0.0

(2) 支出

(単位：千円)

款 項	令和6年度	令和5年度	比較増減	伸 率 (%)	構 成 比 (%)	
					令和6年度	令和5年度
1 水道事業費用	2,789,413	2,845,122	△ 55,709	△ 2.0	100.0	100.0
1 営業費用	2,651,409	2,709,729	△ 58,320	△ 2.2	95.0	95.2
2 営業外費用	114,268	111,460	2,808	2.5	4.1	3.9
3 特別損失	2,736	2,933	△ 197	△ 6.7	0.1	0.1
4 予備費	21,000	21,000	0	0.0	0.8	0.8

2 資本的収入及び支出

(1) 収入

(単位：千円)

款 項	令和6年度	令和5年度	比較増減	伸 率 (%)	構 成 比 (%)	
					令和6年度	令和5年度
1 資本的収入	366,029	608,889	△ 242,860	△ 39.9	100.0	100.0
1 企業債	338,500	585,400	△ 246,900	△ 42.2	92.5	96.1
2 工事負担金	27,527	23,108	4,419	19.1	7.5	3.8
3 固定資産売却 代金	1	1	0	0.0	0.0	0.0
4 その他資本的 収入	1	380	△ 379	△ 99.7	0.0	0.1

(2) 支出

(単位：千円)

款 項	令和6年度	令和5年度	比較増減	伸 率 (%)	構 成 比 (%)	
					令和6年度	令和5年度
1 資本的支出	1,407,442	1,917,974	△ 510,532	△ 26.6	100.0	100.0
1 建設改良費	758,826	1,309,739	△ 550,913	△ 42.1	53.9	68.3
2 企業債償還金	634,218	585,444	48,774	8.3	45.1	30.5
3 基金積立金	13,397	21,791	△ 8,394	△ 38.5	0.9	1.1
4 その他資本的 支出	1	0	1	皆増	0.0	—
5 予備費	1,000	1,000	0	0.0	0.1	0.1

5 公共下水道事業会計予算の状況

業務予定量を水洗化戸数6万3,900戸、年間総処理水量1,455万7,000立方メートル、1日平均処理水量3万9,882立方メートルと決めました。また、予算規模は、対前年度比6.6%減の51億6,600万円としました。

1 収益的収入及び支出

(1) 収入

(単位：千円)

款 項	令和6年度	令和5年度	比較増減	伸 率 (%)	構 成 比 (%)	
					令和6年度	令和5年度
1 下水道事業収益	5,238,640	5,231,550	7,090	0.1	100.0	100.0
1 営業収益	2,993,275	3,018,330	△ 25,055	△ 0.8	57.1	57.7
2 営業外収益	2,245,303	2,213,142	32,161	1.5	42.9	42.3
3 特別利益	62	78	△ 16	△ 20.5	0.0	0.0

(2) 支出

(単位：千円)

款 項	令和6年度	令和5年度	比較増減	伸 率 (%)	構 成 比 (%)	
					令和6年度	令和5年度
1 下水道事業費用	4,999,865	5,065,758	△ 65,893	△ 1.3	100.0	100.0
1 営業費用	4,562,262	4,592,865	△ 30,603	△ 0.7	91.3	90.7
2 営業外費用	414,968	450,878	△ 35,910	△ 8.0	8.3	8.9
3 特別損失	1,635	1,015	620	61.1	0.0	0.0
4 予備費	21,000	21,000	0	0.0	0.4	0.4

2 資本的収入及び支出

(1) 収入

(単位：千円)

款 項	令和6年度	令和5年度	比較増減	伸 率 (%)	構 成 比 (%)	
					令和6年度	令和5年度
1 資本的収入	613,447	940,956	△ 327,509	△ 34.8	100.0	100.0
1 企業債	583,000	768,300	△ 185,300	△ 24.1	95.0	81.7
2 他会計補助金	8,750	8,739	11	0.1	1.4	0.9
3 国庫補助金	14,500	162,860	△ 148,360	△ 91.1	2.4	17.3
4 負担金等	7,026	1,010	6,016	595.6	1.2	0.1
5 固定資産売却代金	1	1	0	0.0	0.0	0.0
6 その他資本的収入	170	46	124	269.6	0.0	0.0

(2) 支出

(単位：千円)

款 項	令和6年度	令和5年度	比較増減	伸 率 (%)	構 成 比 (%)	
					令和6年度	令和5年度
1 資本的支出	2,729,461	3,011,176	△ 281,715	△ 9.4	100.0	100.0
1 建設改良費	658,253	974,447	△ 316,194	△ 32.4	24.1	32.4
2 企業債償還金	2,070,130	2,035,616	34,514	1.7	75.9	67.6
3 その他資本的支出	78	113	△ 35	△ 31.0	0.0	0.0
4 予備費	1,000	1,000	0	0.0	0.0	0.0

6 国民健康保険事業特別会計予算の状況

平成30年度から、制度改革により県が財政運営の主体となり、市は県に国保事業費納付金を納付し、県からの交付金等を財源として、国民健康保険被保険者の病気、けが、出産及び死亡に関して保険給付を行っています。

また、40歳から74歳までの方を対象とした特定健診・特定保健指導及び一日人間ドック受検料の一部助成などの保健事業を行うために必要な経費が、この会計に計上されています。

国保加入世帯数を2万1,630世帯、被保険者数を3万2,175人と想定し、予算総額を対前年度比3.0%減の165億9,100万円としました。

1 歳入

(単位:千円)

款	令和6年度	令和5年度	比較増減	伸率 (%)	構成比 (%)	
					令和6年度	令和5年度
1 国民健康保険税	3,311,845	3,342,146	△ 30,301	△ 0.9	20.0	19.6
2 国庫支出金	2	2	0	0.0	0.0	0.0
3 県支出金	11,614,740	11,820,408	△ 205,668	△ 1.7	70.0	69.1
4 財産収入	4	90	△ 86	△ 95.6	0.0	0.0
5 繰入金	1,632,155	1,899,100	△ 266,945	△ 14.1	9.8	11.1
6 繰越金	1	1	0	0.0	0.0	0.0
7 諸収入	32,253	34,253	△ 2,000	△ 5.8	0.2	0.2
歳入合計	16,591,000	17,096,000	△ 505,000	△ 3.0	100.0	100.0

2 歳出

(単位:千円)

款	令和6年度	令和5年度	比較増減	伸率 (%)	構成比 (%)	
					令和6年度	令和5年度
1 総務費	328,393	318,994	9,399	2.9	2.0	1.9
2 保険給付費	11,378,794	11,718,378	△ 339,584	△ 2.9	68.6	68.5
3 国民健康保険事業費納付金	4,636,892	4,826,962	△ 190,070	△ 3.9	27.9	28.2
4 共同事業拠出金	1	5	△ 4	△ 80.0	0.0	0.0
5 保健事業費	196,531	200,984	△ 4,453	△ 2.2	1.2	1.2
6 基金積立金	4	90	△ 86	△ 95.6	0.0	0.0
7 公債費	21	21	0	0.0	0.0	0.0
8 諸支出金	40,364	20,566	19,798	96.3	0.2	0.1
9 予備費	10,000	10,000	0	0.0	0.1	0.1
歳出合計	16,591,000	17,096,000	△ 505,000	△ 3.0	100.0	100.0

7 介護保険事業特別会計予算の状況

40歳以上の方が納める介護保険料及び国・県・市の負担金等を財源とし、介護が必要な方に訪問介護等の在宅サービスや特別養護老人ホーム入所等の施設サービスを提供するために必要な保険給付を行います。

第9期秦野市高齢者保健福祉計画・介護保険事業計画では、第1号被保険者数を50,103人、要介護等認定者数を7,927人と想定しました。予算総額を対前年度比3.8%増の144億9,200万円としました。

1 歳入

(単位：千円)

款	令和6年度	令和5年度	比較増減	伸率(%)	構成比 (%)	
					令和6年度	令和5年度
1 保険料	3,593,898	3,110,519	483,379	15.5	24.8	22.3
2 使用料及び手数料	120	160	△ 40	△ 25.0	0.0	0.0
3 国庫支出金	2,597,914	2,530,125	67,789	2.7	17.9	18.1
4 支払基金交付金	3,790,323	3,652,426	137,897	3.8	26.2	26.1
5 県支出金	2,074,576	1,983,722	90,854	4.6	14.3	14.2
6 財産収入	421	576	△ 155	△ 26.9	0.0	0.0
7 繰入金	2,434,552	2,690,182	△ 255,630	△ 9.5	16.8	19.3
8 繰越金	1	1	0	0.0	0.0	0.0
9 諸収入	195	289	△ 94	△ 32.5	0.0	0.0
歳入合計	14,492,000	13,968,000	524,000	3.8	100.0	100.0

2 歳出

(単位：千円)

款	令和6年度	令和5年度	比較増減	伸率(%)	構成比 (%)	
					令和6年度	令和5年度
1 総務費	321,058	306,985	14,073	4.6	2.2	2.2
2 保険給付費	13,757,853	13,266,183	491,670	3.7	94.9	95.0
3 地域支援事業費	338,156	317,876	20,280	6.4	2.3	2.3
4 保健福祉事業費	5,144	7,797	△ 2,653	△ 34.0	0.1	0.0
5 基金積立金	421	576	△ 155	△ 26.9	0.0	0.0
6 公債費	21	21	0	0.0	0.0	0.0
7 諸支出金	68,347	67,562	785	1.2	0.5	0.5
8 予備費	1,000	1,000	0	0.0	0.0	0.0
歳出合計	14,492,000	13,968,000	524,000	3.8	100.0	100.0

8 後期高齢者医療事業特別会計予算の状況

後期高齢者医療広域連合への保険料等負担金や事務費及び後期高齢者医療制度被保険者を対象とする人間ドック受検料の一部助成や重症化予防事業などの保健事業を行うために必要な経費がこの会計に計上されています。

75歳以上及び65歳以上で一定の障害がある後期高齢者医療制度被保険者数を2万8,029人と想定し、予算総額を対前年度比13.4%増の32億3,900万円としました。

1 歳入

(単位：千円)

款	令和6年度	令和5年度	比較増減	伸率(%)	構成比(%)	
					令和6年度	令和5年度
1 後期高齢者医療保険料	2,643,739	2,304,447	339,292	14.7	81.6	80.7
2 繰入金	555,650	514,905	40,745	7.9	17.2	18.0
3 繰越金	34,772	33,710	1,062	3.2	1.1	1.2
4 諸収入	4,839	3,938	901	22.9	0.1	0.1
歳入合計	3,239,000	2,857,000	382,000	13.4	100.0	100.0

2 歳出

(単位：千円)

款	令和6年度	令和5年度	比較増減	伸率(%)	構成比(%)	
					令和6年度	令和5年度
1 総務費	114,753	113,785	968	0.9	3.5	4.0
2 後期高齢者医療広域連合納付金	3,094,872	2,712,289	382,583	14.1	95.6	94.9
3 保健事業費	22,836	25,288	△2,452	△9.7	0.7	0.9
4 諸支出金	4,539	3,638	901	24.8	0.1	0.1
5 予備費	2,000	2,000	0	0.0	0.1	0.1
歳出合計	3,239,000	2,857,000	382,000	13.4	100.0	100.0

9 資料

1 人口及び世帯数（令和6年4月1日現在）

（令和2年国勢調査確定値に、毎月の住民基本台帳登録の異動を加減し推計した数値です。）

(1) 人口総数 160,674人

(2) 世帯数 72,991世帯

1世帯当たり 2.20人

《参考》

年齢別住民基本台帳人口（令和6年3月末日現在）

年 齢	人 口	構 成 比	内 訳			
			男		女	
			人 口	構 成 比	人 口	構 成 比
0～14歳	16,215人	10.2%	8,365人	10.5%	7,850人	9.9%
15～64歳	92,658人	58.4%	48,573人	61.0%	44,085人	55.7%
65歳～	49,837人	31.4%	22,678人	28.5%	27,159人	34.4%
合 計	158,710人	100.0%	79,616人	100.0%	79,094人	100.0%

地区別住民基本台帳人口及び世帯数

区分	人 口			世 帯 数
	計	男	女	
本 町	20,863	10,458	10,405	10,097
南	32,606	16,157	16,449	14,833
東	15,665	7,805	7,860	7,222
北	13,193	6,688	6,505	5,974
大根	22,427	11,639	10,788	11,995
鶴巻	13,952	6,821	7,131	7,371
西	38,147	19,115	19,032	17,832
上	1,857	933	924	887
市 計	158,710人	79,616人	79,094人	76,211世帯

2 面積

- (1) 総面積（令和6年4月1日現在） 103.76Km²
- (2) 都市計画区域別面積
- ・市街化区域面積 24.59Km²
 - ・市街化調整区域面積 79.17Km²
- (3) DID（人口集中地区）区域別面積（令和2年10月1日の国勢調査による。）
- ・DID区域内面積 23.16Km²
 - ・DID区域外面積 80.60Km²
- (4) 地目別面積（令和5年1月1日現在固定資産概要調書による。）

単位：Km²

田	畑	宅地	山林	原野	ゴルフ場	鉄道用地	雑種地	その他
2.05	12.26	17.91	14.93	1.86	2.43	0.27	2.91	49.14

3 水道事業の概要

区分	令和元年度	令和2年度	令和3年度	令和4年度	令和5年度
給水人口(人)	164,634	163,866	161,786	161,429	160,820

(※令和6年3月末現在)

4 公共下水道普及状況

区分		令和元年度	令和2年度	令和3年度	令和4年度	令和5年度
行政区域人口(人)：A		160,730	159,968	159,675	159,315	158,710
処理区域内人口(人)：B		141,701	140,680	140,633	140,463	139,870
水洗化人口(人)：C		128,983	129,037	129,973	130,490	130,498
普及率	$\frac{\text{処理区域人口}}{\text{行政区域人口}} (\%) \frac{B}{A}$	88.2	87.9	88.1	88.2	88.1
	$\frac{\text{水洗化済人口}}{\text{処理区域人口}} (\%) \frac{C}{B}$	91.0	91.7	92.4	92.9	93.3

*行政区域人口は、各年度末の住民基本台帳による。

*令和6年3月末現在

5 国民健康保険加入状況

区 分	令和元年度	令和2年度	令和3年度	令和4年度	令和5年度
全世帯数(世帯)	73,381	73,762	74,651	75,579	76,211
加入世帯数(世帯)	24,384	24,264	23,990	22,490	22,352
全人口(人)	160,730	159,968	159,675	159,315	158,710
被保険者数	37,788	37,302	36,386	34,716	32,643

※世帯数・人口は、各年度末の住民基本台帳による。

6 介護保険加入状況

区 分	令和元年度	令和2年度	令和3年度	令和4年度	令和5年度
全人口(人)	160,730	159,968	159,675	159,315	158,710
第1号被保険者数(人) (65歳以上)	48,061	48,771	49,226	49,373	49,613
要介護等認定者数(人)	6,952	7,129	7,447	7,636	7,703

※人口は、各年度末の住民基本台帳による。

7 後期高齢者医療保険加入状況

区 分	令和元年度	令和2年度	令和3年度	令和4年度	令和5年度
全人口(人)	160,730	159,968	159,675	159,315	158,710
被保険者数	22,427	23,045	24,116	25,645	27,117

※人口は、各年度末の住民基本台帳による。

8 ごみと資源物の収集状況

区 分	令和元年度	令和2年度	令和3年度	令和4年度	令和5年度
可燃ごみ(t)	34,790	34,412	33,859	33,213	32,173
不燃・粗大ごみ(t)	2,163	2,481	2,072	1,783	1,719
資源物(t)	11,951	12,093	11,825	11,475	10,977
計(t)	48,904	48,986	47,756	46,471	44,869

※市が収集、処理したごみ・資源物の総量

※令和5年度は速報値

9 学校別児童生徒数（令和6年4月1日現在）

(1) 小学校

区分	本町	東	南	北	大根	西	上	広畑	渋沢
男(人)	347	281	560	348	221	312	43	62	395
女(人)	331	245	522	294	204	293	42	48	302
計(人)	678	526	1,082	642	425	605	85	110	697

区分	末広	南が丘	堀川	鶴巻	合計
男(人)	241	251	244	349	3,654
女(人)	240	262	221	362	3,366
計(人)	481	513	465	711	7,020

(2) 中学校

区分	本町	東	南	北	大根	西	南が丘	渋沢	鶴巻
男(人)	335	152	272	189	160	339	168	187	192
女(人)	305	130	280	184	165	277	143	172	174
計(人)	640	282	552	373	325	616	311	359	366

区分	合計
男(人)	1,994
女(人)	1,830
計(人)	3,824



予算のあらまし
令和6年度（2024年度）

令和6年4月16日発行

秦野市 政策部 財政課

TEL 82-5116（直通）